

学校名 熊谷市立星宮小学校
所在地 熊谷市池上733
電話 048-525-4550

1 本校の概要

本校は、熊谷市の東に位置し、昭和30年に開校した。田園が広がる豊かな自然環境のもと、学校教育目標「勉強や仕事を進んでする子、仲良く力を合わせる子、じょうぶでたくましい子」の育成のため家庭・地域が一体となって、未来を担う子供たちを育てている。6学級、児童数62名の小規模校である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・家庭や地域との連携
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

読書の習慣化に努めるとともに、活字文化への興味・関心を高めることをねらいとして、以下の実践をしている。

ア チャレンジ読書

1・2年生100冊、3・4年生2000ページ、5・6年生4000ページという読書達成目標を示し、読んだ本の題名と冊数・ページ数を「読書記録カード」に記入していく。カードは廊下掲示をしている。学年末には毎年同じ読書ファイルに1年分の読書記録カードを綴り、卒業時には小学校6年間の読書量をファイルの重みや厚みなどで実感できるようにしている。

イ 読書月間

6・11月を読書月間とし、1・2年生8冊、3・4年生400ページ、5・6年生750ページを目標とし、読書量を増やすことを目指す。この期間に読んだ本はチャレンジ読書とは別の記録カードに記入する。記録カードは、図書室に全員分掲示し、意欲化を図る。

ウ 6年生による読み聞かせ

年3回、朝の活動として、たてわり班（各7～8名）で行っている。絵本を6年生が選び、読み聞かせを行った後、下級生全員が感想を述べる。本に親しむとともに、本を介しての児童同士の交流の場と

なっている。

エ おはなしの会「虹」による読み聞かせ

「本とのふれあい事業」としてボランティア団体であるおはなしの会「虹」によるお話会を行っている。低学年3回、中学年2回、高学年1回に分けて実施している。

オ 図書室の環境整備

「調べ学習コーナー」に机を置き、その場で調べたことをノート等に記入できるようにしている。

「国語の教科書にのっている本コーナー」を設け国語の学習との関連読書をしやすくしている。常時「読書感想文」「読書感想画」を掲示し、興味・関心を高めるだけでなく、来年度の作品づくりの参考にもなっている。また、5年生の国語の学習で作成したポップや帯等を掲示したところ、他学年も興味をもって見ていた。



カ 生活朝会で全校ブックトーク

11月の読書月間に入る前に食に関するブックトークを行った。その後、ブックリストを各学級に配布した。紹介した本をその日に借りる児童もおり、興味関心を高めることができた。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

朝の（15分間）に低学年は読書を行っていることもあり、低学年の読書量は今年度確実に増えている。

(2) 課題

高学年は一斉に読書をする時間の確保が難しく、家庭学習の中で取り組むことが多い。また、読むことに支援を要する児童にとっては、チャレンジ読書の目標が高い壁になっている。

(3) おわりに

毎年の活動を見直ししながら、児童の読書習慣や読書に対する関心が高まるように読書環境を充実させ、豊かな心の育成と確かな学力向上に努めたい。